

## 学校評議員会の実施報告書

---

学校名 岐阜県立飛騨特別支援学校 高山日赤分校  
学校長 松井 みどり  
所在地 高山市天満町 3-41-1 電話 0577-34-3637

---

- 1 会議の名称 平成29年度 第2回学校評議員会
- 2 会議の構成 委 員 中島 香 飛騨子ども相談センター 家庭支援課長  
(欠席)  
北出 和美 高山赤十字病院小児科 看護師長  
三川 賢悟 高山市福祉サービス公社 支援課長  
森本 雅彦 高山日赤分校卒業生保護者  
霜山紀代乃 高山市主任児童委員 (欠席)
- 学校職員 松井みどり 校長  
北村 浩好 事務部長  
駒田 美奈 教頭 (兼高等部主事)  
中井 隆 小・中学部主事
- 3 会議の目的 開かれた活力ある学校づくりを目的として、地域住民や有識者等から学校運営に関して幅広く意見を聞くために学校評議員を置き、会を開催する。
- 4 会議の開催 日 時 平成29年11月14日 (火) 10:30~12:00  
場 所 岐阜県立飛騨特別支援学校 高山日赤分校 相談室  
出席者 学校評議員3名と学校職員4名
- 5 会議の概要  
(1) 校内参観

## (2) 校長挨拶

高等部が開設されて2年目を迎えるが、試行錯誤を重ねながら教育内容の充実に取り組んでいる。

来年度は高等部3年生が在籍し、初めての卒業生となる。このため例年10月に実施していた学習発表会を今年度は9月に行い、その後、キャリアアップウィークとして外部講師の進路に関する講話などを実施し、進路支援の充実を図った。

また来年度は、高等部3年生が修学旅行を計画している。これに伴い、今年度初めて10月に高等部宿泊学習を1泊2日で実施した。

地域社会への啓発活動としては、校下の芸能発表会に保護者や子どもたちが主体となって参加し、合奏を披露した。

病弱通常学級対象となる生徒の教育相談などもあり、来年度に向けての学校体制について検討している。

今日は、評議員の方々のご意見をうかがいながら、今後の学校運営に活かしていきたいと考えている。どうぞよろしくお願いいたします。

## (3) 平成29年度学習発表会の紹介（教頭）

### (4) 学校評価について（教頭）

ア 第1回評議員会以降の学校の様子

イ 保護者等を対象とするアンケート結果から

ウ 当校の課題

### (5) 当校の教育活動に関する御感想及び御意見等

意見1：高等部の開設以降、教育内容が充実してきており、小規模校のよさが発揮されている。

意見2：保護者だった立場としては、進路のことが一番不安であった。重点的に取り組んでもらいたい。

意見3：卒業後以降の生活を考えなければならない。高等部卒業生は社会に出るための準備を充実させ、最初の一步として後輩たちにつなげてもらいたい。そのためにできるだけの支援を行いたい。

学 校：いろいろなことにチャレンジしていきたい。

学 校：在学中と社会に出たときのギャップが大きすぎる。このことが心配である。  
卒業以降への引き継ぎのために在学中から取り組んでいきたい。

意見4：現場実習は行っているが、実社会で通用するか不安である。分校と本校が連携して取り組むのもひとつの手段ではないか。

学 校：これまでも試みたことがあったが、教育課程など学校の特性の違いから難しい面もある。評議員の方々の御意見を参考に今後取り組んでいきたい。まずは健康管理や体力作りが大切である。

学 校：今年度から部活動を行っている。少人数ではあるが充実させていきたい。

学 校：これまで各種学校間交流を行っている。学校が市街地に立地するという好条件を活用して、社会を知るための交流ができないか。地域社会とのつながりを求める保護者からのニーズも高い。

意見5：外部講師による進路講話を実施したようだが、外部講師側にもよい刺激となっている。

学 校：いろいろな機会をとらえて、交流の内容や手立てを検討していきたい。

#### (6) 連絡（教頭）

3月13日に卒業式が、3月23日に修了式がある。

#### (7) 校長挨拶

今日は本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。